



・令和3年度優良土づくり表彰
農林水産省農産局長賞に

大黒弘恵さん

- ・「肥料コスト低減体系緊急転換事業」のご紹介
- ・データ駆動型土づくり推進事業各地の様子
- ・日本土壤協会からのお知らせ

土壤医の会全国協議会第5回全国交流大会 12月8日 連合会館

「令和3年度優良土づくり表彰」～受賞者の表彰と成果発表が行われました～

農林水産省農産局長賞は、個人部門の日東エフシーの大黒弘恵さんの「カリウムの増施によるカーネーションの葉先枯れの抑制」が受賞されました。

大黒 弘恵さんの成果発表

令和3年度優良土づくり推進活動表彰

1年目の栽培状況

2年目の状況

カリウムの増施によるカーネーションの葉先枯れの抑制

～土壌分析を活用した施肥提案～

2021.12.08
日東エフシー株式会社 技術普及部 大黒 弘恵

	pH (H2O 1:5)	EC (mS/cm)	有機物(%) (mg/100g)	石灰 (mg/100g)	亜土 (mg/100g)	カリ (mg/100g)	CEC (me/100g)
標準	5.93	0.636	222	794	53.7	14.3	15
未知	5.93	0.317	317	335	31.0	20.0	14
未知	6.01	0.816	335	364	45.9	30.3	12

優良土づくり表彰受賞者（敬称略）・受賞テーマ

【個人部門】

★農産局長賞

・大黒 弘恵 日東エフシー株式会社 「カリウムの増施によるカーネーションの葉先枯れの抑制」

★日本土壤協会会長賞

・五十嵐 総一 長崎県農林技術開発センター

「草花栽培における適正施肥と有機物を主体とした低成分配合肥料の開発」

・松田 晃 山形県最上総合支庁

「施肥試験や土壌分析による水稻の施肥改善に向けた取り組み」

★全国協議会会長賞

・野々下 昌利 大日本産肥株式会社

「ソルファインを使用した土壌還元消毒による施設栽培ナスの青枯れ病軽減と生育改善」



・上原 浩司 アグロカネショウ株式会社

「**土壌分析データを活用し、ブドウの収量・品質を向上させるための取組みについて**」

・西澤 博文 株式会社生科研

「**茶園の土壌改良とお茶の品質向上対策**」

・坂本 浩介 東京都農林総合研究センター

「**コマツナ・ホウレンソウにおける黒ボク土に過剰に蓄積されたリン酸の有効活用**」

【**土壌医の会部門**】

★**日本土壌協会会長賞**

・竹腰 恵 片倉コープアグリ土壌医の会

「**ユリの生育障害に対する原因究明と防除策**」

・両総土壌医の会（会長：長谷川 智重）

「**2020年度（一部2021年度）活動実績**」

★**全国協議会会長賞**

・江原 良太 片倉コープアグリ土壌医の会

「**未利用有機物による土壌還元消毒とその効果の評価方法について**」

・山中 啓史 片倉コープアグリ土壌医の会

「**データ駆動型土づくり推進 - カンキツ園での土壌診断項目と精度との関係解析の試み**」

五十嵐 総一さんの成果発表

五十嵐 総一さんの成果発表

● 障害が発生している圃場は**低pH、高EC**

- ほとんどの圃場で**リン酸過剰** (トルオージン数 100~300mg/100g)
- 腐植が低い** (有機物不足で2%程度)
- 問題を改善できる肥料銘柄の取り扱いがない

※および肥料メーカーと協議し、有機質原料主体の配合肥料を設計すること！

● **有機質主体の原料設計にすることの目的**

- あえて窒素効きをおさえる**草花栽培では窒素施肥のコントロールが重要**。花もちにも関係が
- 生理的酸性肥料による**土壌pH低下を抑制**。硫酸などを極力使わない**発酵土づくり**
- 有機物補給による**土づくり**。酸類形成による**土壌化学性・生物性の改善**。炭による影響を緩和。難溶性リン酸の可溶化

● **土づくり講習会**

開発肥料の取り組みを生産者に周知するために合わせて**土づくり講習会**を実施

- 土づくりの意識向上
- 土壌消毒勉強会も実施
- 生産者間のコミュニケーションのきっかけにも！

↓

多くの生産者が参加するように



長谷川 智重さんによる活動報告

活動紹介・・・ちょっとその前に

『**Cure and Care SOIL**』って何？

『**Cure and Care SOIL**』とは・・・
土壌を癒やし、治していく 略CaCS

問題を抱える圃場を**Cure**(治す・問題解決)
Cureに至るまでの過程を
Care(癒す・問題に付随する状況の改善)していくこと。
SOIL(土壌)

顧客と共に**CaCS**を通してニーズを満たす
仲間・同志と共に**CaCS**を通してニーズを満たす

想定されるニーズ → 顧客と共に考え、共にニーズを満たす → 顧客 ↔ 仲間同志

● 栽培現場改善 ● 情報収集 ● スキルアップ ● まだ見ぬニーズ

活動紹介 現在主に行っている活動 今年度の取り組み内容

今年度の取組内容

2021/5/15

- 山中式硬度計使用による土壌硬度調査と指による判定 土壌医 鈴木直政氏
- データ駆動型土づくり推進事業 事例検討 村井氏圃場
- ネギ圃場事例検討 黒炭腐植剤に関する意見交換
- エンジン式オーガによる縦穴式暗渠 (ネギ圃場での施用例) 土づくりマスター 長谷川
- 土壌医 株定ポスター 用宣材写真撮影会
- ドローン撮影：土壌医 鈴木直政氏

2021/10/16

- オンライン勉強会
- バイオオキミュラント資材活用による作物の生育改善
- サカタのタネ 土壌医 高木篤史氏

☆**土壤医の会活動報告** 表彰者の発表に引き続き土壤医の会の活動報告が行われました。



九州土壤医の会
会長 大畑和生氏

首都圏土壤医の会
会長 高山晃氏

1. 首都圏土壤医の会の特徴
(2) これらの思いを実現するための首都圏土壤医の会の4つの事業
実現するためには
① 土壤医等の持つべき知識を維持・向上させ、さらには知識を実践に結びつけるような研鑽も必要となります。
② 共通の思いを持つ人との出会い、土作りに関する色々な分野の専門家との人脈を形成するための交流の場が必要となります。
③ 思いの実現に向けて、行動できる場が必要となります。

研鑽・研修事業 会員交流事業
会員活躍推進事業 検定試験講習会事業

3. 首都圏土壤医の会の今後の在り方検討委員会
(2) 首都圏土壤医の会の会員に対するアンケート（抜粋②）

職業等	農業関連企業	農業の順	多種多様	
職業等 24件の回答	農業 農業関連企業勤務 農業関連外企業勤務 公務員 農協・農業関連団体 農業関連の自営業 農業関連以外の自営業 学生 カーディーラー 無職 建設会社勤務 主業兼 一般財団法人日本土壤協会	40%	20%	8%



3. 首都圏土壤医の会の今後の在り方検討委員会
(2) 首都圏土壤医の会の会員に対するアンケート（抜粋②）

会員を増やすことについて 活動の充実による増加が半数以上

1) 会員を増やすことについて
24件の回答

44%	会員を積極的に勧めて行く方向に賛同する
37.5%	会員は、自然に増えるのを待つことがよい
	活動内容の充実を図ることで、自ずと会の評価が高まり、増加することがよい
	会員を増やす必要はない



新型コロナウイルスの影響で活動が困難な中での
皆様のご活躍に拍手を送ります！
来年も多くの皆様の応募をお待ちしています！！

「肥料コスト低減体系緊急転換事業」のご紹介

12月20日に令和3年度補正予算が成立しました。一般会計の総額は35兆9,895億円で過去最大です。その大部分が経済対策関連ですが、土づくりに関係する予算もあります。
その一つが「肥料コスト低減体系緊急転換事業」（45億円）。12月15日～17日に農林水産省でweb説明会が開催されました。
こちらに説明資料が掲載されています。
https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_hiryu/211208.html

事業の背景にあるのは、最近の肥料価格の上昇。これを受けて施肥コストの低減等に取り組む農業者の支援を行うものです。具体的には、農業者が土壌診断を行い、それに基づいて施肥コストの低減に取り組んだ場合、土壌診断に係る費用は全額、施肥コストの低減に取り組む費用は1/2が補助されます。

土壌診断については、分析費用だけでなく、土づくり専門家等への相談料等に係る費用も補助となります。また、生産者自らが50万円未満の土壌診断装置を購入し土壌診断を実施した場合は、装置の購入費や診断に必要な消耗品費が補助されます。

施肥コストの低減としては、肥料コストや施肥量を低減する技術の導入、低コスト肥料や国内の地域資源を活用した肥料への切替、があげられています。

肥料費は補助の対象外ですが、堆肥の成分分析費や散布代行費は補助の対象となります。

また、堆肥など大量に施用しなければならない肥料の場合は、運搬費も補助の対象となっています。

説明資料の3ページに取組イメージとして、いくつか例が掲載されていますので、これを読んでいただくと良いかもしれません。

補助を受けるためには、都道府県ごとに設置される都道府県協議会に申請を行い、審査を受けて採択される必要があります。公募の時期は未定ですが、説明会では2月上旬ごろを予定しているとのことでした。

おつきあいのある生産者の方からご相談がある土壌医の方がいるかもしれません。また生産者で土壌医の資格をお持ちの方は、自らこの事業に申請される方もいらっしゃるかも知れません。

農林水産省では、公募の情報等をホームページで随時提供していくとしています。土壌協会でもご関心の土壌医の方には情報を提供していく予定ですので、ご連絡下さい。

データ駆動型土づくり推進事業 ～各地の状況～

今年度、新たに加わった地域での様子です。

群馬県（藤岡市） での土壌調査

土壌医の
井田さん
にご協力いただき
ました。





広島県での オリエンテーション

土壌医の森さんが中心となっ
て、この地域の土壌調査が現在
進行形です。

*オリエンテーションには
広島県立吉田高校の金谷先生や
庄原実業高校の堀内先生も
ご参加くださいました。

若い皆さん
日本の農業を
よろしく



宮城県での オリエンテーション

あいコープみやぎに
出荷されている
生産者の皆さんが
調査に参加中です



千葉県我孫子市の
先祖代々400年以上
農業を受け継がれて
いる生産者さんにも
調査に協力していただ
きました。
(近所のお寺に400
年前の記録が残って
いるのだそうです。)

～日本土壌協会からのお知らせ～

・土壌医資格登録者等レベルアップ研修会

開催日時：2022年1月14日 ◇参加費 12,100円 ◇詳細 <https://www.doiken.or.jp/training.html>

会場：連合会館（東京都千代田区神田駿河台3-2-11）

テーマ：[土壌分析等データ活用による土壌・作物診断と改善対策]

カリキュラム



・日本土壌協会研修会テキスト販売

土壌医の会会員の皆様には下記の価格で土壌医検定受験者向けの研修会テキストを販売しております。

2, 3 級レベル 1,100 円

1 級レベル 2,200 円

* 送料 360 円

ご希望の方は

研修会テキスト代金に送料 360 円を加えた金額を下記口座にお振込みの上、kouno@japan-soil.net にメールでお申し込みください。

振込先：みずほ銀行 九段支店

金融機関コード 0001-532

普通口座：1524003

口座名義：一般財団法人 日本土壌協会

時間	内容
9:30～9:35	オリエンテーション (一財)日本土壌協会 事務局
9:35～9:40	主催者代表挨拶 (一財)日本土壌協会 会長(東京大学名誉教授) 松本 聡氏
9:40～10:40 (10分休憩)	1.「土壌分析等データ活用による診断の進め方と実施事例」 (猪股 敏郎氏((一財)日本土壌協会 専務理事(技術士))
10:50～11:50 (昼休み)	2.「野菜類の生育障害の診断と改善対策」 (吉田 清志氏 (土壌医、信州土壌医の会会長))
13:00～13:40	3.「ニンニクの生育不良要因の解析と改善対策」 (後澤 寿雄氏(土壌医、青森南土壌医の会会長))
13:40～14:40 (10分休憩)	4.「水稲の生育不良要因の解析と改善対策」 (長谷川 雅義氏(土壌医、新潟県土壌医の会))
14:50～15:50 (10分休憩)	5.「圃場の物理性診断と排水性等の改善対策」 (屋代 幹雄氏 (茨城土壌医の会会長))
16:00～16:50	<事例発表に基づく総合討議> (事例発表者に対する質問と意見交換) (コーディネーター) (一財)日本土壌協会 会長(東京大学名誉教授) 松本 聡氏

今年も残りわずかとなりました・・・

皆様のご意見やご活躍の様子を、kouno@japan-soil.net までお寄せください。

「土壌医ネットワーク」<https://soil-doctor.net/> もぜひご活用ください。各地で頑張っている土

壌医、土づくりマスター、アドバイザーの皆さんとの交流ができます。土壌医ネットワークでの情報交換で、地域を超え地域を結ぶズーム研修会も開催されています。



皆様の益々のご活躍を祈念いたしております。

よいお年をお迎えください。

